



# よこすか市議会だより

No. 40

令和3年(2021年) 5月7日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会議会事務局課]

横須賀市議会

検索



pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会  
編集 広報広聴会議



事業者が決定し、3月定例会で予算を可決した  
長井海の手公園(ソレイユの丘)リニューアルイメージ図  
※今後の協議により変更になる可能性があります。

## コロナ禍での新年度予算を可決

新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響を少しでも軽減させるために、議会として臨時議会を開会するなど、スピード感を持って対策を進めてまいりました。

### 1月臨時議会

1月27日に臨時議会を開催しました。この臨時議会の主な内容は新型コロナウイルスの影響を受けている市内飲食店を支援するための補正予算議案です。提出議案の説明を聴取し、議論の結果、賛成多数で可決しました。

### 3月定例会議

3月定例会議は2月15日～3月24日の期間で開催しました。この定例会議は、主に市長から出された令和3年度の施政方針とそれに伴う予算を審議する定例会議です。市長は、感染症対策を第一に、福祉・子育てなどの様々な支援を行いながら横須賀を再興していくとし、令和3年度の一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額は3,138億円、うち一般会計は1,595億円という予算案を提示しました。これに対し、各党派は代表質問を、無党派議員は個人質問を行い、市長に質しました。令和3年度は税収の大幅な減少、感染症への対応、社会保障費の増加が予想される中、市民サービスの低下を招かないような取組を議会として議論を重ねてまいりました。

### 3月臨時議会

3月31日に臨時議会を開催。地方税法改正に伴う市税条例の改正などの2議案を審議し全会一致で可決しました。

## (仮称)中央こども園改修工事整備事業

### 事業の概要

令和4年4月に開園予定の(仮称)中央こども園改修工事について担当部局より説明を受けました。

### 主な質疑

この事業は、上町保育園と鶴が丘保育園を統合した認定こども園と、子育て支援機能を併せ持つ拠点施設を、職員厚生会館を改修して整備する事業です。

令和3年度の事業費は全体でおよそ6億5千万円になりますが、各工事においてどのような整備を行うっていくのかについて委員会が審査をいたしました。

この拠点施設は、多くの子どもたちが利用する施設で、子育て中の方の交流の場にもなります。施設は安心・安全に利用できることが求められます。

すので、今後も利用者の立場に立つて改修工事が行われることを議会として注視していきます。

問 車での送迎用の駐車スペースは設けるのか。

答 園庭側に2台駐車できるような形になる。

問 送迎時にどれくらいのが数が来るのかかわらないが、基本的に2台分を回していくのか。

答 2台では今の上町保育園と鶴が丘保育園の利用状況からすると厳しい。道路の反対側にも4、5台分を確保し、園庭側の駐車スペースをUターンに使用する形で検討している。

問 建物は車いすで利用できる設計になっているのか。

答 車いすで利用可能。新しい設計によりバリアフリーに配慮している。問 愛らんどには、親子

で食事ができるスペースをつくるのか。

答 実際に運営をする業者等と相談しながら考えていく。

問 現状園庭側の出入口には階段があるが、園児にとっては段差があると危険ではないか。段差は解消してフラットにする予定か。

答 段差は解消する。問 外階段の踊り場の擁壁が低く園児が落下してしまう懸念がある。落下防止策をどのように考えているのか。

答 実際は外階段を取り壊すこととなるが、屋上等を含め落下防止等はしっかりと対応していく。

問 脱炭素の取組を宣言した中で最初の大きな工事だが、そういうことを考慮に入れて工事請負事業者と話し合う余地はあるのか。

答 電気設備・機械の整備等において対応できるものがあればぜひ対応したい。

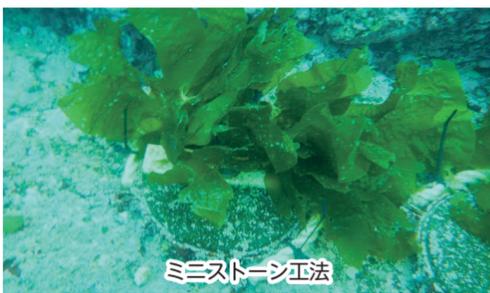


旧職員厚生会館を改修して整備する(仮称)中央こども園のイメージ図

5階	子育て支援センター(愛らんど)	一時預かり保育室
4階	ファミリー・サポート・センター	研修室
3階	幼保連携型認定こども園(仮称)中央こども園	
2階		
1階	病児・病後児保育施設	

改修後の建物概要

### ミニストーン工法による藻場造成



漁業生産の向上、漁業経営の安定化、および水産物の振興を図るための各種事業費の一つとして、長井沖にミニストーン工法による藻場造成をするための漁業協同組合への補助金が予算案に計上されました。これに対

し、ミニストーン工法の詳細、設置方法、環境政策部のブルーカーボン推進事業(ブルーカーボンを蓄積する仕組みを二酸化炭素の吸収源として活用していくための検討)と連携を密にする必要性等について質疑を行いました。

#### 主な質疑

問 ミニストーン工法とはどのようなものか。  
答 円盤形のブロックに海藻の種苗をつけ、海底岩盤等に固定設置するもの。カジメやアラメを培

養する。  
問 横須賀以外での事例はあるか。  
答 様々な形のミニストーンがあり、それぞれ実績はある。場所、土地にあった工法が必要となり、試行が必要である。

問 試験的に実施したと聞いているが、結果は。  
答 民間企業の実証実験という形で、無償で設置し、まだ設置箇所には藻場ができていない状態ではないが、有意な結果が出たため、漁業協同組合より来年度実施のための補助金申請があった。

問 どのくらいの規模か。  
答 ミニストーン20基程度の設置を予定している。1か所(約1平方メートル)に4〜5基設置する。海藻がその場所から周囲に広がることを期待するもの。1か所の設置

### 小学校を拠点とした地域コミュニティの強化



横須賀らしさを生かした地域コミュニティの活性化を目指して、スクールコミュニティ事業の取組が行われています。小学校を地域のコミュニティ拠点として、子ども

から高齢者まで様々な世代間の交流を促進し、地域の結びつきを強めています。

問 汐入・鷹取・馬堀小学校の3校でモデル事業を行っているが、令和3年度はモデル校での活動実績を紹介しながら、さらに事業を広げていくことにし、質疑を行いました。

#### 主な質疑

問 地域運営協議会や自治会、社会福祉協議会等と連携し、協力してもらう

で、半径20mほどに効果が見込め、これを4〜5か所設置する。

問 藻場の造成は、ブルーカーボン推進においても重要であり、漁師が魚を捕るうえでも重要である。今後の見通しは。  
答 民間企業の協力で実証実験をしている。効果が期待できるとあり、今回漁協が独自事業として実施するに至った。市ができる部分は支援したい。

問 環境政策部と別々に始めた実施策ではあるが、

### 証明書交付手数料のキャッシュレス化を行政センターに拡大

住民票の写し、印鑑証明書や税証明等の各種証明書の交付や申請に係る手数料について、感染症拡大防止の観点から接触の機会を減らし、市民の皆様が安心してご利用いただくために、交通系ICカードによるキャッシュレス決済が市役所1階の窓口サービス課と役所屋中央店で導入されており、各行政センターにも拡大することにし、質疑を行いました。

#### 主な質疑

問 交通系ICカードに限った理由は。  
答 交通系ICカードは普及率が高いことやレジの仕組みなどハード面での課題が解決できることが挙げられる。

目指す方向は一致している。環境政策部と連携し進めてはいかかか。  
答 おっしゃる通り。環境政策部でブルーカーボン推進事業の話があり、海で実施するにあたっては、各漁業協同組合の協力が不可欠である。ブルーカーボン推進事業について、既に各漁協に話をしており、協力いただけることは確認している。環境政策部と十分連携を取りながら進めたい。

問 キャッシュレス決済の利用を促進するための取組は。  
答 先行している窓口サービス課では、広報よこすかやステッカー、机上用ののぼりなどで周知した。各行政センターでも同様に周知を図っていく。

問 今後、他のICカードやクレジットカードが利用できるよう検討してはどうか。  
答 まずは、交通系ICカードで様子を見ながら導入するか検討したい。

### ルートミュージアム推進事業について

横須賀に点在する開国から近代につながる歴史や文化のみどころと自然豊かなスポット、観光施設(サテライト施設)を「ルート」でつなぎ、市内全体を大きな「ミュージアム」として新しい横須賀の楽しみ方を提案する「ルートミュージアム」推進事業として令和3年度に、3,317万5千円が計上され、委員会にて審査を行いました。

#### 主な質疑

問 これまで、よこすか近代遺産ミュージアムティポデイエ邸建設に多額の予算がかかっているが、

今後の効果検証について、どのように検討しているのか。  
答 何人来たか、有料コンテンツがどれくらい見られたか、横須賀にどれくらい周遊されたかなど、周辺の観光事業者との連携についても把握しながら検証していく。

問 浦賀のコミュニティセンター別館などは資料も多くサテライト施設に良いと思うが、候補にならなかったのか。  
答 今回サテライト施設として採用された施設の次点候補だったため、資料にはあがっていない。

問 紙では載せられないものが限られるので、スマー

トフォンでも見られるよう、WEBサイトで補ってほしい。  
答 WEBサイトには他の施設も載せる予定。どこまで詳しく掲載するかは検討している。

問 サテライト施設について、資料として出しているが、楽しさを感じない。サテライト施設として自然公園等々多くの施設があげられているが、初めて見た人には、ここでは何を伝えたいのか、伝わらないのではないか。  
答 特に自然系のサテライトは季節によって見頃などの時期が異なるので、WEBサイトやサテライトの情報カードなどで伝え、行ってがっかりさせることのないようにしたい。

### 1万メートルプロムナードの活性化について

JR横須賀駅から平成町、馬堀海岸を経て観音崎までの約10kmの遊歩道



#### 主な質疑

問 1万メートルプロムナード活性化の目的と目標は。  
答 ただ通り過ぎるのではなく、観光コンテンツとして集客できるようにしたいと考えている。

問 生活道路のイメージが強いが集客できるのか。

問 そこで長時間過ごすことはないかもしれないが、フォトジェニックなウォールアートなど、インスタ映えするスポットにしたい。  
答 市民の中にはあの場所が1万メートルプロムナードということを知らない人も多いのではないかと。ここがそうだというように、民間に協力してもらおうなどし、目で見てわかるようにしてほしい。沿道の会社や店の方たちも協力してくれるのではないかと。

問 民間からの協力は考えていなかったが、連携することは効果が高いと思う。

## 基本構想・基本計画策定特別委員会

3月24日の本会議において、基本構想・基本計画策定特別委員会でのこれまでの審査の経過と、委員会としてとりまとめた提言の中間報告を行いました。

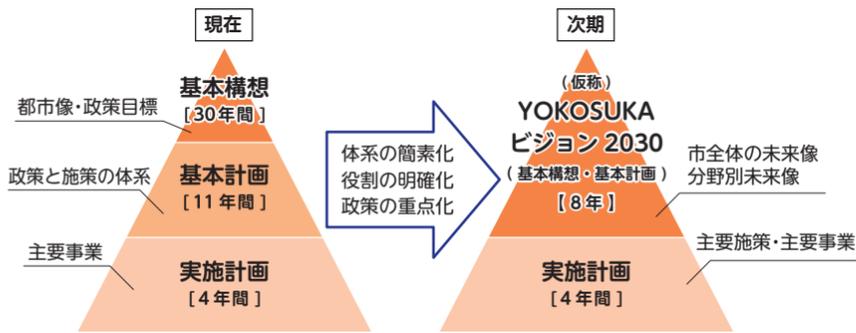
提言の一部を紹介すると、

- 固定観念を払拭し、新しい生活様式や社会経済活動の変化など、未来を的確に見据え、持続可能な市政運営を目指しながら、全ての人々が将来に希望を持てるような基本構想・基本計画とされたい。
- ジェンダー平等など、多様性を認め合う差別のない社会にふさわしい写真やイラスト、文言を使用されたい。

提言は、草稿(たたき台)をもとに質疑及び議論を行い、草稿(たたき台)が素案となる前に委員会としての要望事項をまとめたものです。

特別委員会が設置された昨年5月は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、人と人との接触を避けるような新しい生活様式が提唱され、社会がどう変わっていくのかわからない状況でした。このような中、延べ10回の会議を開き、精力的に協議を行い、提言するに至りました。

基本構想・基本計画は分野別に福祉、子育て・教育、防災・安全、産業振興、観光・文化など多岐に渡るため、今後、策定における所管課だけでなく、分野ごとに関係する部局と議論を行う予定です。



次期基本構想・基本計画は、現在の3層構造から、「基本構想・基本計画」と「実施計画」との2層構造とし、それぞれの役割を明確化し、重複感を解消することで、よりシンプルで分かりやすい構成とします。

## 市民の困り事に応えるコロナ協議会

新型コロナウイルス感染症対策検討協議会は、コロナ禍の中で市民が抱える不安に応え、市民の困り事を迅速に解消すべく、昨年5月に発足しました。各会派の代表者が集まり、少人数の議員間討議で迅速に市民の声に応えることを旨としています。この間、多くの提言を実現してきましたが、直近での成果を2件ご紹介します。



市役所でのテイクアウト販売の様子

第一に、市役所でのテイクアウト販売です。長期化する緊急事態宣言の中で売上減に悩む飲食店を少しでも支援すべく、公共施設でのテイクアウト販売を可能とするよう市に求めました。すると市担当者が早速調整に動き、昼食時と17時以降に日替わりで店舗が変わる方式での販売が市役所にて実現しました。中には数日分の売上に匹敵する売れ行きを見せた店舗もあったようで非常に喜ばれました。

第二に、放課後児童クラブによる学校施設の使用です。緊急事態宣言を受け、校庭や体育館などの学校開放は中止しましたが、学校内に所在するクラブに対してのみ例外として使用を認めていました。これに対し、「学校外のクラブに対しても同様に開放すべき」旨を市に求めました。すると市担当者が早速調整に動き、学校外に所在するクラブも同様の扱いを受けることとなりました。

コロナ禍の早期終息を願いつつも、改善が必要と思われる事項については、積極的に提言してまいります。

## 3月定例議会 代表質問・個人質問

発言通告の全文はこちら➡



自由民主党  
田中洋次郎



- (1) 市長在任期間の総括について
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策について
- (3) 財源不足への対応策について
- (4) FIM戦略プラン等の着実な推進について
- (5) 次期基本構想・基本計画の策定等について
- (6) 交流人口の拡大施策について
- (7) 教育(コロナ禍での子どもの学力への影響等)について
- (8) 子育て(待機児童の解消等)について
- (9) 福祉(障害者就労支援の将来的な方向性等)について
- (10) 医療政策(未病対策・データヘルス活用等)について
- (11) 減災(断水対策としての発電機等の準備等)について
- (12) 市内各地域におけるまちづくり政策について
- (13) 港湾政策(北九州とのフェリー航路開設等)について
- (14) 水産業の活性化(異業種連携等)について
- (15) 走水水源地の都市公園化について
- (16) デジタル政策全般について
- (17) 環境問題への対策(ゼロカーボンシティ等)について
- (18) 広報戦略(本市公式LINE・動画の活用)について
- (19) 市職員のテレワークについて

よこすか  
未来会議  
永井真人



- (1) 職員の意識改革について
- (2) 予算編成について
- (3) 国際交流について
- (4) 疫学調査とワクチン接種の本市の体制について
- (5) コロナ禍で厳しい状況の方の実態把握や支援について
- (6) コロナ禍で滞った指導・監査について
- (7) 新市立病院について
- (8) 自殺対策について
- (9) 支援の質向上のための支援ファイルデジタル化について
- (10) 読書の推進について
- (11) 教職員の働き方改革について
- (12) 放課後児童クラブについて
- (13) 待機児童について
- (14) 一時預かりの充実について
- (15) 複合災害への備えについて
- (16) 浦賀ドックとその周辺の一體的なまちづくりについて
- (17) ジェンダー平等・男女共同参画について
- (18) 海洋プラスチックごみ問題について
- (19) 水道の広域化について

公明党  
二見英一



- (1) 令和3年度予算について
- (2) 施政方針について
- (3) 横須賀再興プランとSDGsについて
- (4) 脱炭素社会への取組と行政のデジタル化について
- (5) スポーツを活用した地方創生について
- (6) 浦賀ドックについて
- (7) 子育て・福祉環境の充実について
- (8) 教育環境の充実について
- (9) 高齢化社会に対応した施策について
- (10) 防災減災への取組について

日本共産党  
大村洋子



- (1) 新型コロナ「高齢者施設従事者等の検査徹底」は急務
- (2) 人類存亡がかかった気候危機にスピード感で取組を
- (3) 全世界と連帯し核禁止条約批准を日本政府に求めよ
- (4) 命と健康を守る市民病院・呼吸器内科の体制維持を
- (5) 生活保護申請時の扶養照会を止めて利用支援の充実を

小室卓重



- (1) コロナ禍でさらに深まった「孤育て」への対策について
- (2) 放課後対策事業計画の見直しの必要性について
- (3) 基地対策の在り方について

小林伸行



- (1) 市長の政治姿勢について
- (2) 行政執行の公平性と適切性について(芦名漁港における問題行為について)

藤野英明



- (1) コロナ禍での生活困窮と自殺の増加への対策の必要性
- (2) 市役所の相談支援窓口を365日オープンする必要性
- (3) 食糧支援を365日受けられる体制の必要性

# 令和3年1月臨時議会・3月定例議会・3月臨時議会 審議結果

○=賛成、×=反対

賛否が分かれた議案	会派				無会派					
	自由民主党	よこすか未来会議	公明党	日本共産党	木下義裕	小林伸行	小室卓重	杉田惺	はまのまさひろ	藤野英明
令和2年度横須賀市一般会計補正予算(第12号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
令和2年度横須賀市一般会計補正予算(第13号)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
(仮称)中央こども園改修工事請負契約の締結について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度横須賀市一般会計予算	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×
令和3年度横須賀市特別会計国民健康保険費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度横須賀市特別会計介護保険費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
令和3年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度横須賀市病院事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
職員定数条例中改正について	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×
福祉援護センター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
横須賀市介護保険条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
指定管理者選考委員会等条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
都市公園条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
横須賀港港湾施設使用条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例中改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
横須賀市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
久里浜1丁目公園グラウンドほか整備工事(その1)請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※その他議案39件については、全会一致で可決または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。  
※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

## 請願・陳情

	件名	結果
請願	気候非常事態宣言に関する決議について	不採択
	後期高齢者の医療費窓口負担2割化の中止・撤回を求める意見書の提出について	審査終了
陳情	フェリー就航を目的とした行政執行の在り方に関する調査及びフェリーターミナル建設工事の一時中止を求めることについて	審査終了
	後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書の提出について	審査終了
	漁港水域の無許可占有に対する行政対応の検証を求めることについて	審査終了

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

## 会派所属議員名 令和3年3月31日現在

- 自由民主党** 大野忠之 西郷宗範 青木哲正 青木秀介 田辺昭人 松岡和行 加藤真道 渡辺光一 南まさみ 山本けんじゅ 田中洋次郎 大貫次郎
- よこすか未来会議** 伊関功滋 永井真人 小幡沙央里 加藤ゆうすけ 嘉山淳平 工藤昭四郎 高橋英昭 竹岡力 角井基 長谷川昇 葉山なおし 堀りょういち
- 公明党** 板橋 衛(議長) 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一 川本 伸
- 日本共産党** 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

### [ 政策検討会議進捗報告より ]

議会では、これまでに市民生活の向上を図ることを目的に議員提出条例を制定してまいりましたが、令和元年5月より議会による政策形成サイクルを本格的に導入するため、議員任期中の4年間を通しての計画である横須賀市議会実行計画(未来への羅針盤2023)を作成し計画的に取り組んでいます。これまでに「歯及び口腔の健康づくり推進条例」を制定し、現在、犯罪被害者等基本条例検討協議会と子どもの権利検討協議会が協議中です。本年末には交通基本条例のための検討会議が設置される予定であり、併せて議会の見える化を図る観点から、議会制度検討会議、議会ICT化運営協議会、広報広聴会議の議会改革の取組状況についても公開中です。

市議会HP：政策検討会議進捗報告はこちら➡



### 編集後記



よこすか市議会だよりは2000年の創刊以来、今回で40号です。「さまざまな機会をとらえて皆さんに情報提供を進め、『よりオープンで活気ある議会』を目指す」という当時の決意のもと、今後もSNS等を利用し積極的に広報広聴に努めていきます。  
編集：広報広聴会議(◎=委員長、○=副委員長)  
後列左から 大貫次郎/青木秀介/加藤真道/高橋英昭/山本けんじゅ/小林伸行/井坂 直/堀りょういち/川本 伸  
前列左から ◎嘉山淳平/○石山 満

横須賀市議会公式ツイッターはこちらから！



令和3年6月定例議会の予定	
開催日	会議名
6月1日(火)	議会運営委員会
6月2日(水)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
6月7日(月)	教育福祉常任委員会(予算決算分科会) 都市整備常任委員会(予算決算分科会)
6月9日(水)	総務常任委員会(予算決算分科会) 生活環境常任委員会(予算決算分科会)
6月14日(月)	基本構想・基本計画策定特別委員会
6月16日(水)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
6月18日(金)	議会運営委員会、本会議(14時)

6月3日(木)・8日(火)・10日(木)・15日(火)、17日(木)は予備日です。  
※インターネットで中継もご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています。)  
※時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。  
※傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPが議事課でご確認ください。